

「人を思い 自分から伝え ともに伸びる」
第4ステージ 思いを伝えあおう（言葉 表情 行動で）

<自分ごととして学びを深める> スタート集会が10月5日にありました。

自分ごととして問いにたいする考えをもとう！ 対話で授業をつくろう！



話すときに、「ここまでわかる？」など友達の反応を確かめながら、伝えられるようになることを目指します。

また、自分の考えと相手の考えを比べたり、発表している友達をしっかりと見てうなずいて反応したりしながら聞けると、コミュニケーションがとりやすくなります。話している人も安心して伝えることができます。

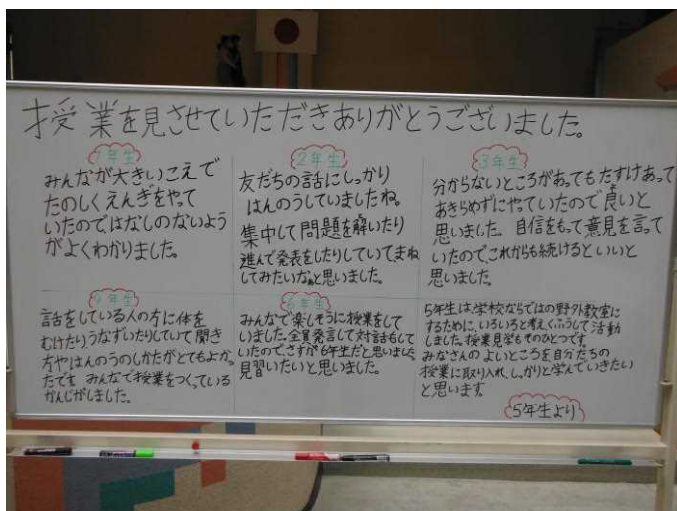


「こんな話し方がいいよ」と全校の前で紹介しました。



第IVステージの取り組み

☆子どもたちによる授業参観☆



☆5年生が野外活動の時、各クラスの授業を参観しました。参観後、それぞれのクラスのいいところ や真似したいところなど、感想を青空広場のホワイトボードに書きました。

それを読んだ子どもたちは、改めて自分たちのよさを感じ、引き続き授業をつくるために活かそうと意欲を高めました。さらに、他のクラスのいいところを真似したい、自分たちも参観に行きたいという思いをもちました。

☆4～6年生の 社会新聞コンクール☆

4～6年生で、『社会新聞のコンクールをしよう。』ともちかけました。内容はもちろんのこと、メッセージ性やインパクトのある表現など、どれも工夫してまとめてありました。これをきっかけに、お互いのよい点を真似して次に活かせるといいです。



↑ 【4年生】



↑ 【5年生】

3年生は、どんなところを真似したいか感想を話し合いました。



↑ 【6年生】

<プログラミングタイム> ～通年、月曜日5校時に学年入れ替わりで実施～

新学習指導要領実施に伴い、プログラミング教育が始まりました。プログラミングタイムは当初各学年年間5回でしたが、休校があったため、4回となりました。プログラミングの考え方を理解したり、簡単な教材を使って慣れ親しんだり、ビジュアルプログラミングなどの操作を覚えたりしています。また、教科の中でも各学年1～2時間行います。



グリコード



スクラッチ